

京都を拠点に活動する現代の作家に注目し、その表現の魅力を探ります。

Okamura Rinko

日々照応 岡村倫行展
6月1日(土) - 7月28日(日)

空間を凝視し、繊細な線で作品をつくりあげる岡村倫行。
人物から背景へ、自然から空間へと広がる独自の情感を展観します。



1



2



3



4



5

岡村倫行
おかむら・りんこう



1944(昭和19)年 京都市に生まれる
1963(昭和38)年 京都市立日吉ヶ丘高校美術コース日本画課程卒業後、青塔社に入社。油田透郎に師事
1973(昭和48)年 新日展に初入選(以後14回入選)
日暮展「THE ROOM」にて日暮賞('74、'79、'80受賞)
京都日本画新人展大賞
塊展の結成に参加、以後毎年出品(第10回まで開催)
1975(昭和50)年 日展「花と」にて特選
1979(昭和54)年 日展「行く人」にて特選、無鑑査
1980(昭和55)年 山種美術館賞展「砂に」にて優秀賞
1981(昭和56)年 京都市芸術新人賞
1983(昭和58)年 日展審査員(以後5回)
1985(昭和60)年 日展「綿津見」にて会員賞
1986(昭和61)年 個展(地終海始)開催(京都・東京・大阪・岡山巡回)
2006(平成18)年 日展内閣総理大臣賞
2007(平成19)年 日展内閣総理大臣賞受賞記念・岡村倫行素描展開催(銀座松屋)

- 1 雪 2011年
- 2 花浪 2013年
- 3 花雲(下図) 2012年
- 4 泡沫 2013年
- 5 那智滝(写生) 2009年

テネシーへの想い 北野治男素描展
8月2日(金) - 9月29日(日)

アメリカの自然と対峙する北野治男。
テネシーの風景から生命の声を聴く作家の姿が作品から見えてきます。



1



2



3



4

北野治男
きたの・はるお



1946(昭和21)年 大阪に生まれる
1967(昭和42)年 日展初入選
1970(昭和45)年 京都教育大学特修美術科日本画卒業
真魚のグループ結成
1973(昭和48)年 日展「赤い月」で特選
1974(昭和49)年 日暮展「幻映」で奨励賞
日展「森の中」で特選
1976(昭和51)年 京都市芸術新人賞
1977(昭和52)年 京都朝日画廊にて個展
1983(昭和58)年 日展審査員('94・'04・'07・'12)
1989(昭和64)年 高島屋にて個展('95・'09)
2004(平成16)年 日展「道」にて会員賞
2010(平成22)年 日展「樹」にて内閣総理大臣賞
2011(平成23)年 日展内閣総理大臣賞受賞記念・北野治男素描展開催(銀座松屋)

- 1 麓 2003年
- 2 樹 2010年
- 3 静かに流る 2005年
- 4 道 2004年
- 5 暮れゆく路 1998年



5